

平成31年2月6日

一 般 質 問 通 告 書

目黒区議会議長

質問者氏名 いその 弘三

目安時間 45分

平成31年2月22日の第1回目黒区議会定例会において、下記事項について、質問をしたいので通告します。

記

1・目黒区の「次の世代へ伝えたいことデータバンク事業」について

目黒区には様々な分野で活躍され、成功も失敗も様々な経験もされ第一線を退いてもなお様々な活動を行なっている方も多く住まわれているかと思えます。そういう方々から次世代に伝えたいことを募りデータバンク化し次世代へ繋いでいく事は、広く見れば目黒区全体の「底力」を上げていくものと思われます。

高齢者の生きがいつくりや生涯学習といった側面もありますが「未来へ向けて」の全庁的な取り組みとして行っていく事が必要だと思えます。

例えばの話ですがタイミング的には区制90周年記念事業を契機にしても良いかと思えますし、全庁的な取り組みの中の一つとして、生涯学習に取り組む公益財団法人やシルバー人材センターと協働して取り組むなどしていくと、より効果的なものになっていくと考えられ「次の世代へ伝えたいことデータバンク事業」を確立していくことは有意義だと思われますのでお伺いします。

2・防犯カメラの維持・管理経費について

補助金に関して東京都の補助上限は300万円（総額の1/2）・  
目黒区の補助上限は200万円（総額の1/3）・実施主体は  
（総額の1/6）であります。

平成31年度当初予算に東京都は防犯設備維持管理経費への補助を新規計上しました。

地域の防犯力の維持向上に取り組む町会・自治会等を更に支援するため

防犯カメラの維持管理費のうち、継続利用に資する保守点検費・修繕費について補助を実施としてさらに拡充をおこなっていく方針のようだが、目黒区ではその対応の議論はまだされていません。

都議会で議決されれば目黒区も対応をしていく訳ですが、目黒区としての考え方をお伺いします。

### 3・認知症の方や、その家族の不安を減らしていく方策について

2025年には認知症を患う方の数は諸説ありますが全国でおよそ700万人と言われていています。目黒区では現在、65歳以上の人口はおよそ55,000人であり、認知症の方の割合5人に一人とすると、実に一万人以上の方が対象となり、そこに介助・介護する方を考えれば倍以上の方が係わる事になるかと思えます。

目黒区もいくつかの認知症支援事業をおこなっていますが、踏み込んだ具体的で、なおかつ直接的な支援が必要になってくると思えますのでお伺いします。